

経 営 状 況 報 告 書

令和6年度 事業報告

令和7年度 事業計画

豊橋ステーションビル 株式会社

I 令和6年度 事業報告

1 事業の経過及びその成果

当期は、昨年に引き続き安全・安心な駅ビル事業運営を実現すべく、防火防災、食品衛生等に係る安全管理に取り組み、大きな事故もなく事業運営を行うことができました。また、豊橋駅前地区の活性化に寄与するため、地元団体の活動等に積極的に協力するとともに、「豊橋まちなか未来会議」への参画、地元事業者との連携による「すてきマーケット」等の催事も開催しました。

在来線鉄道輸送量がコロナ禍の前の水準に戻らない厳しい経営環境の下、営業収益を確保するため、様々な販売促進施策を実施するとともに、魅力的なテナントの誘致に努め、カルミア本館1階には地元事業による「ねりや花でん」を4月に、また、2階には「ドラゴンズストア」を7月に開業させました。

カルミア本館においては、衣料品及び文化雑貨が伸び悩みましたが、食料品、飲食が堅調に推移し、売上高は前年比102.9%になりました。一方在来線改札内店舗は、鉄道利用客の動向に沿って前年比104.6%となり、合計の店舗売上高は、73億36百万円（前年比103.1%）となりました。直営事業においては、広告収入が売上を伸ばしたほか、西口駐車場の利用の増加等により、事業全体では前年比102.6%となりました。

経費面では、電気代の高止まり傾向等により物件費は前年比107.2%になりました。修繕費では、保守費を業務委託費に移行したため前年比57.0%になり、業務委託費では、修繕費からの移行分が増加したものの、令和5年度施策である、JR東海グループの共通駅ビルシステム移行に伴うデータ移行費用等の反動減等により、前年比102.5%となり、営業費用は、11億97百万円（前年比99.6%）となりました。

結果、営業収益は12億40百万円（前年比102.9%）、営業利益は43百万円、経常利益は50百万円となり、当期純利益は19百万円となりました。

II 令和6年度 決算報告
貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	429,306	流 動 負 債	653,181
固 定 資 産	(1,925,629)	固 定 負 債	545,217
有形固定資産	1,920,673	負 債 合 計	1,198,398
無形固定資産	626	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	4,329	株 主 資 本	(1,156,537)
		資本金	100,000
		資本剰余金	1,036,999
		利益剰余金	(19,537)
		利益準備金	13,920
		その他利益剰余金	5,617
		純 資 産 合 計	1,156,537
資 産 合 計	2,354,936	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,354,936

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		1,240,391
売上原価		916,006
売上総利益		324,385
販売費及び一般管理費		281,251
営業利益		43,133
営業外収益		8,987
営業外費用		1,600
経常利益		50,521
特別損失		21,239
税引前当期純利益		29,282
法人税、住民税及び事業税	977	
法人税等調整額	8,767	9,744
当期純利益		19,537

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本						純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	
		その 他 資 本 剰余金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計		
令和6年4月1日残高	100,000	1,780,000	13,920	△756,920	△743,000	1,136,999	1,136,999
当事業年度中の変動額							
欠損填補		△743,000		743,000	743,000	—	—
当期純利益				19,537	19,537	19,537	19,537
当事業年度中の変動額合計	—	△743,000	—	762,537	762,537	19,537	19,537
令和7年3月31日残高	100,000	1,036,999	13,920	5,617	19,537	1,156,537	1,156,537

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Ⅲ 令和7年度 事業計画

1 方針

- (1) お客様、テナント様に、安心かつ信頼してご利用いただける施設を目指す
- (2) 地域のお客様に選ばれる施設を目指す
- (3) グループ連携による業務効率化を図る
- (4) 社員が働きやすく、働きがいを実感できるよう、職場風土を継続的に変革する

2 主要施策

- (1) 収益向上及び利益確保
- (2) 地域貢献（JR東海グループ、他社及び地元との連携）
- (3) 設備維持管理（建物老朽化対策）
- (4) 安全管理及び社内基盤の強化

Ⅳ 令和7年度 収支予算

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

	予 算 額	前年度予算額	増 減
営業収益	1,209,171	1,221,723	△12,552
営業費用	1,205,020	1,191,617	13,403
営業利益	4,151	30,106	△25,955
営業外収益	120	198	△ 78
営業外費用	720	207	513
経常利益	3,551	30,096	△26,545
特別利益	—	—	—
特別損失	41,610	19,010	22,600
税引前純利益	△38,059	11,096	△49,155
法人税等	977	182	795
法人税等調整額	△2,838	0	△2,838
当期純利益	△36,198	10,903	△47,101

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。